国語 三省 2年 教科書 P.116〜P.129

13 A

平家物語

氏名　　組　　番

得点　　／50

1

次の――線部の読みを現代仮名遣いに直して、全て平仮名で書きなさい。（各2点×7）

(1) 祇園精舎の鐘の声……
(2) 返させたまへ。
(3) わが子の小次郎がよはひほどにて……
(4) 見知らうずるぞ。
(5) 直実は心苦しうこそ思ふに……
(6) 熊谷あまりにいとほしくて……
(7) さめざめとぞ泣きゐたる。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)

2

次の――線部の語句の意味をあとから選び、記号で答えなさい。（各5点×4）

(1) 盛者必衰のことわりをあらはす。
(2) みぎはに打ち上がらんとするところに……
(3) なんぢがためにはよい敵ぞ。
(4) ただ、とくとく首を取れ。

ア 現実　イ 道理　ウ 我々
エ おまえ　オ さっさと　カ どうか
キ 波打ちぎわ　ク 右側

(1)	(2)	(3)	(4)

3

『平家物語』について述べた次の文章の□A〜Dに入る言葉をあとの□の中から選び、書きなさい。（各4点×4）

『平家物語』は、□A時代前期に成立した□Bである。□Cが国々を回って語り伝えることによって、民衆に親しまれた。物語は、人生をはかないものとする仏教の□Dを基調にしながら、当時の武士の人間像を生き生きと描いている。

奈良　平安　鎌倉　無常観　自然観
僧侶　琵琶法師　随筆　軍記物語　和歌集

A	B	C	D

国語 三省 2年 教科書 P.122 ℓ.11〜P.124 ℓ.4

13 B

平家物語

氏名　　組　　番

得点　　／50

1 次の古文と現代語訳を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

（『平家物語』）

問一 ——線①「雲霞のごとく」がたとえている様子を次のうちから選び、記号で答えなさい。（10点）

ア 整然と並んでいる様子。
イ 逃げまどっている様子。
ウ たくさんいる様子。
エ 遠くにいる様子。

□

問二 ——線②「同じくは」の解釈を次のうちから選び、記号で答えなさい。（10点）

ア どこへ行っても味方がいないのなら
イ どちらにしても命が助からないのなら
ウ どうせ誰かの手を借りるのなら
エ どうあっても降参しないのなら

□

問三 ——線③「のたまひける」の現代語訳を次のうちから選び、記号で答えなさい。（10点）

ア せき立てた
イ ののしった
ウ つぶやいた
エ おっしゃった

□

問四 ——線④「首を切ってしまった」ことについて、熊谷はどんな気持ちでいますか。次のうちから選び、記号で答えなさい。（10点）

ア 武士として手柄（てがら）を立てられて喜ぶ気持ち。
イ 武士の家に生まれたことを嘆き悲しむ気持ち。
ウ ことの重大さにあせる気持ち。
エ 役目を果たし、安心する気持ち。

□

問五 この文章で描かれている熊谷の人物像を次のうちから選び、記号で答えなさい。（10点）

ア とても情に厚い。
イ 功名心が強い。
ウ 常に冷静である。
エ 臆病である。

□